



文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム（BP）」

Brush up Program
for professional



郡山

参加者
募集

新事業開発
プロジェクト研究

2023年9月開講 募集要項



郡山市



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

郡山新事業開発プロジェクト研究



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。

気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

郡山新事業開発プロジェクト研究は、

- ・ 郡山市の地域資源を再発見し、地域再生につながるような自組織の新規事業及び新サービスを構想する場です。
- ・ SDGsやDXなど最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、新たな価値を創造します。
- ・ 異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・ 7か月間（2023年9月～2024年3月）の研究会を通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。



品川市長

品川市長コメント

来年、市制施行100周年を迎える郡山市では、複雑化・多様化する課題の解決と、新たな価値を創造できる次世代の人材育成を図るため、河村電器産業株式会社様並びに事業構想大学院大学様と連携し、「郡山新事業開発プロジェクト研究」をスタートします。本研究から、郡山市の次の100年を担う人材が輩出されますことを期待しております。皆様の御応募をお待ちしております。

郡山新事業開発プロジェクト研究の概要と特徴

郡山新事業開発プロジェクト研究の全体概要

新事業の開発を行う7か月間の研究会

本研究会は、事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づいた研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う7か月間の研究会です。

1人の担当教授と10人の研究員

研究会は、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

7か月間で20回開催

定例の研究会は、7か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新事業創出を支援していきます。

「研究員」という資格を付与

プロジェクト参加者は、事業構想大学院大学附属の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを7か月間執り行います。



郡山新事業開発プロジェクト研究の概要と特徴

郡山新事業開発プロジェクト研究 4つの特徴

1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

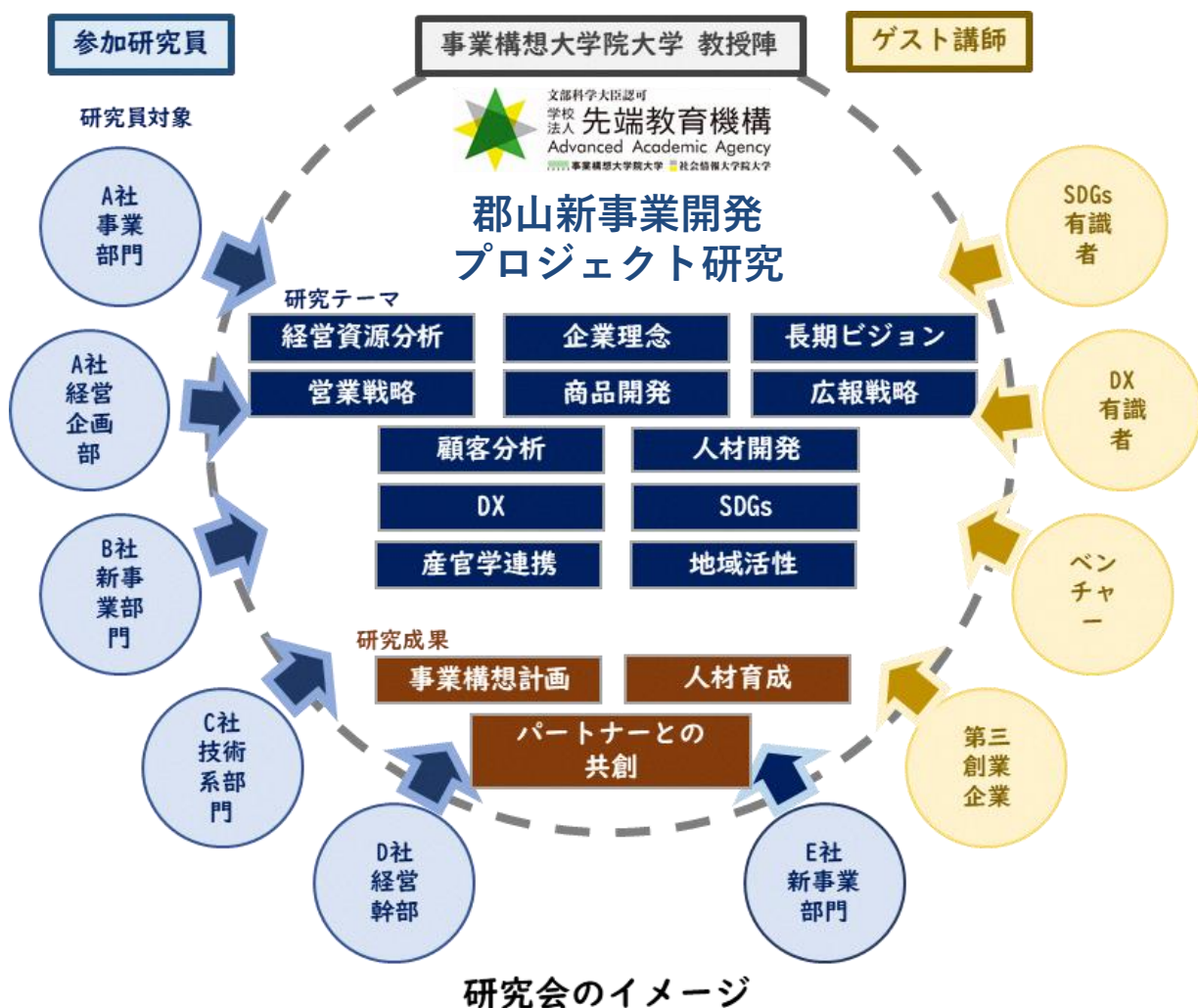
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、SDGsやDXなどの最先端分野における第一人者（官公庁・有識者・実践者・学者・起業家）から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

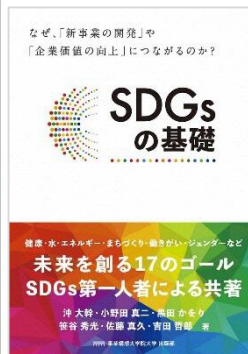
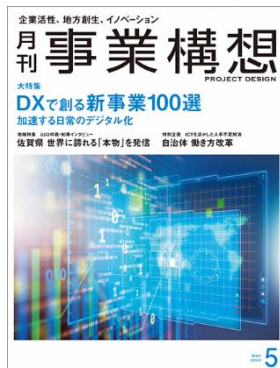
4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクト研究において、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクト研究に招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

事業構想計画書

プロジェクト研究や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社及び自身の事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- ・ 各研究員が、1点以上策定する。
- ・ 「郡山市の新規事業創出及び郡山市域の発展に関する構想」というテーマを踏まえて、自組織の計画書を作成する。
- ・ 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

募集概要

プロジェクト期間

全20回、実施期間：2023年9月～2024年3月 各回4時間程度（詳細は8ページ参照）

募集人数

10名程度

- ※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。
- ※選考の結果は、参加可否を問わず、8月下旬までにご連絡いたします。
- ※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

会場

郡山市内会場、事業構想大学院大学仙台校、オンライン

※原則として、対面参加できる方を選考いたします。

対象

- ・自組織の経営資源や自身の技術を活用して、郡山市で新事業・新サービスの創出を目指す、あらゆる業種・分野の企業・団体等

- ※業種や企業規模は問いません。個人事業主も可能です。
- ※研究期間を通して9割以上の日程に出席できる方が参加可能です。
- ※各社からの参加は、1名程度（役職不問）としてください。

研究員として参加いただきたい方のイメージ

- ・郡山市をより良くしたいという熱い想いを持っている方
- ・人脈や技術など、自社の経営資源を再定義し新事業を策定したい方
- ・社会を洞察しながら、時代に即した新しい事業を立ち上げたい方
- ・参加者やゲスト講師、自社のステークホルダー等と、共創事業を立ち上げたい方

申し込み期限

締め切り：2023年8月28日（月） 申込書類必着

申し込み書類

個人調書、研究志望書、※研究申込書

※研究申込書については、個人調書、研究志望書をご提出いただき、選考会実施後、別途送付をさせていただきます。

申し込み方法

申し込み書類一式を、以下担当宛に電子メールにて提出

【送付先】学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 仙台

「郡山新事業開発プロジェクト研究」担当宛

メールアドレス：sendai@mpd.ac.jp

選考会終了後、研究申込書を送付致しますので、記入の上、ご返信ください。

研究参加費 無料（移動・宿泊費用は自己負担）

プロジェクト参加にあたって、パソコン必須

共催

郡山市・学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所



松行 輝昌

(まつゆき てるまさ)

事業構想大学院大学 教授

横浜国立大学講師、大阪大学学際融合教育研究センター准教授、全学教育推進機構准教授、共創機構イノベーション戦略部門人材育成室長・特任准教授などを歴任。2023年1月より大阪大学招へい教授。イノベーション、アントレプレナーシップ、リーダーシップ教育に加えてスタートアップ支援を行っている。アクティブラーニングを積極的に行い、学生が本づくりを行うシヨセキカプロジェクトでは学生が企画した『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』（日経ビジネス人文庫、2019年）が出版された。建築家との集合住宅プロジェクト、商店街活性化プロジェクト、地域活性化プロジェクトや衛生工学研究者、国際NGOとのミャンマー中央乾燥地域でのソーシャルビジネスプロジェクトなど異分野のプロフェッショナルとの共創を実践してきた。第21回日本地域学会学会賞、大阪大学総長顕彰、大阪大学賞など受賞多数。2018年度日本建築学会設計競技審査員。

主な著書・論文

- 『地域社会圏主義』LIXIL出版 2012年（共著）
- 『ソーシャルイノベーション』丸善出版 2011年（共著）
- ” Nurturing entrepreneurs: How do technology transfer professionals bridge the Valley of Death in Japan?” Technovation 2020（共著）
- “University-Industry collaborative entrepreneurship education program as a trading zone” Technology Innovation Management Review 2018（共著）
- 「空間デザインと知識」ナレッジ・マネジメント研究 2016年
- 「地域医療連携における知識コミュニティの形成とアントレプレナーによる価値創造」ナレッジ・マネジメント研究年報 2013年
- 「ハイテク産業集積の新しいモデル - ユタ大学の事例」地域学研究 2012年

郡山新事業開発プロジェクト研究 カリキュラム

日程：2023年9月～2024年3月

講師：松行 輝昌教授

会場：下記参照（研究会実施会場の詳細は、参加確定後にご案内いたします）

郡山新事業開発プロジェクト研究カリキュラム案

事業構想大学院大学 教授 松行輝昌

本プロジェクト研究の基本コンセプト

- ①各研究員が、郡山市の地域課題の解決に資する事業構想に主体的に取り組むことにより、地方創生の推進を実現するための新事業を創出する。
- ②本プロジェクト研究を通じた公民共創を誘発していくことで、産官学連携による連携プラットフォームを構築し、郡山市が掲げる「地域再生計画」の実現を目指す。

事前課題 ①郡山について、デスク・リサーチ（文献・WEB調査）、インタビュー（知人等にヒアリング）、訪問（観察・体験）など、研究員各自の状況に合わせた事前リサーチを行い、できるだけ関連情報の蓄積をしておくこと。
②事前リサーチした情報を踏まえて、郡山に対する自分なりの問い「問題意識※1」をいくつか持って初回に参加すること。
※1：自分として「こうすべき・こうあるべき」と思ったこと。具体的には「なぜ…」「おもしろい…」「もっと良くなるのに…」「もったいない…」のように感じたこと。

| 回 | 月/日 | 研究会時間 | 目標 | プログラム | 開催場所 | 備考 |
|----|----------|---------|---|--|--|---|
| 1 | 9/20(水) | 13時～17時 | 【第1クール】 事業構想の基礎 発・着・想 アイデア量産 | <ul style="list-style-type: none"> >オリエンテーション >事業構想概論(事業構想サイクル) >チームビルディング | 河村電器産業 郡山工場 住所：福島県郡山市上伊豆島一丁目 | |
| 2 | 9/27(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >コンセプトメイキング1 >デザイン思考概論 >共感 >顧客インサイト | 郡山市 | |
| 3 | 9/28(木) | 9時～13時 | | <ul style="list-style-type: none"> >コンセプトメイキング2 >トレードオフの発見と課題の設定 >課題解決案の創出 >マインドセット | 郡山市 | |
| 4 | 10/4(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >コンセプトメイキング3 >仮説の検証 >リフレーミング >イノベーションと認知心理学 | 河村電器産業 郡山工場 住所：福島県郡山市上伊豆島一丁目 | |
| 5 | 10/11(水) | 13時～17時 | <ul style="list-style-type: none"> >社会動向と事業構想 >社会課題の背後にある歴史や構造の理解 >比較制度分析/戦後日本経済システム/制度的補完性/経路依存性 | 郡山市 | | |
| 6 | 10/18(水) | 13時～17時 | 【第2クール】 事業構想案 策定・中間発表 | <ul style="list-style-type: none"> >フィールドリサーチ >フィールドワーク実施 >フィールドリサーチ概論 >仮説検証の方法 >顧客インタビュー | 郡山市 | |
| 7 | 10/25(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >社会動向と事業構想 >社会課題の俯瞰 >自身のリフレクション、システム思考、メタ認知 前半：講義と質疑応答、後半：グループワークと発表 | 郡山市 | ゲスト 事業構想大学院大学 松本 三和夫 教授 |
| 8 | 10/26(木) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >地域イノベーション >地方創生の知識 >具体的な地域課題の検討 | 郡山市 | ゲスト 事業構想大学院大学 河村 昌美 教授 |
| 9 | 11/8(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >郡山市のケーススタディ >郡山における地域イノベーションの事例を学ぶ >空間デザインによる地域イノベーションなど多様なアプローチを知る | 郡山市 | ゲスト 検討中 |
| 10 | 11/15(水) | 13時～17時 | <ul style="list-style-type: none"> >中間発表 >多様な視点からのディスカッション >構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ | 河村電器産業 郡山工場 住所：福島県郡山市上伊豆島一丁目 | | |
| 11 | 11/22(水) | 13時～17時 | 【第3クール】 構想計画に必要な 知識と実践法 | <ul style="list-style-type: none"> >ビジネスモデル1 >ビジネスモデルの基本 >価値の交換 >顧客課題・業界課題・社会課題 | 郡山市 | |
| 12 | 12/13(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >ビジネスモデル2 >ビジネスモデルキャンパス >収益のモデル | 郡山市 | |
| 13 | 12/14(木) | 9時～13時 | | <ul style="list-style-type: none"> >ビジネスモデル3 >リーンスタートアップ >エフェクチュエーション >イノベーションの普及理論 | 郡山市 | |
| 14 | 12/27(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >ファイナンスと収支計画 >ファイナンスの基本 >収支計画の考え方 | 事業構想大学院大学 仙台校 住所：宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル7階 | ゲスト 事業構想大学院大学 結城 秀彦 客員教授 |
| 15 | 1/17(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >マーケティング >マーケティングの基礎 >市場開発/競合との差異 | 事業構想大学院大学 仙台校 住所：宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル7階 | ゲスト 事業構想大学院大学 事業構想研究所 原尻 淳一 客員教授 |
| 16 | 1/31(水) | 13時～17時 | 【第4クール】 事業構想計画 策定・発表 | <ul style="list-style-type: none"> >プレゼンテーション >プレゼンテーションの基礎 >コミュニケーションデザイン | 事業構想大学院大学 仙台校 住所：宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1 JR仙台イーストゲートビル7階 | ゲスト 事業構想大学院大学 八代 車代子 客員教授 |
| 17 | 2/14(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >事業構想計画立案・ディスカッション・講評 >多様な視点からのディスカッション >構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ | 河村電器産業 郡山工場 住所：福島県郡山市上伊豆島一丁目 | |
| 18 | 2/28(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >事業構想計画立案・ディスカッション・講評 >多様な視点からのディスカッション >構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ | 郡山市 | |
| 19 | 3/13(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >事業構想計画立案・ディスカッション・講評 >多様な視点からのディスカッション >構想計画策定に向けたピボット・ブラッシュアップ | 郡山市 | |
| 20 | 3/27(水) | 13時～17時 | | <ul style="list-style-type: none"> >最終発表 >郡山における地域課題解決に資する理想的・具体的な事業構想計画の完成と自分事化 >プレゼンテーションスキルのブラッシュアップ >多様な視点からの講評を受けることによる視野視座の広がりと高度化 | 河村電器産業 郡山工場 住所：福島県郡山市上伊豆島一丁目 | |

- 【補足事項】
 ①講義時間：13:00～17:00:9:00～13:00
 ②事業構想大学院の教授が1名専任担当教員として全体の指導・ファシリテート
 ③各研究員の事業構想の内容・進捗に応じ、ゲスト講師（本学・他大学教員、民間企業、公務員、その他専門家を）を招聘
 ④担当教員が、研究員の状況・希望に応じ、適宜個別指導に対応
 ⑤本カリキュラムの他、研究員は、事業構想大学院の授業の一つ「事業構想スピーチ（年間40回）※」を、本プロジェクト期間内に受講可能
 ※ 各県を代表するキーパーソンをゲストスピーカーとして招聘し、先端ビジネスモデル・社会的事業モデル等の実践事例やノウハウ等を学ぶことでヒントを得、自己の事業構想に役立てる講義
 ⑥講義以外の時間は各自「仕事等・フィールドリサーチ・議論」などを実施
 ⑦各回で、構想の進捗に応じた「課題（ホームワーク）」を課すことがある
 ⑧本カリキュラムは現状案であり、各研究員の構想テーマや進捗等に応じ、担当教員の判断で講義内容や順序等の変更を行う場合があります。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチュア・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎研究修了証

◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



- 履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- 名刺、身分証の発行・貸与。
- 大学院主催年約40回の「事業構想スピーチ」への参加。
- 図書室やサロンなどの施設の活用。
- オンラインデータベースの利用。
- アーカイブ視聴。
- 希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- 担当教授に随時相談可能

個人情報の取り扱いについて

本学が申込書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④本学からのお知らせ、⑤これらに付随する業務を行う目的のみに、事務局および担当教員が利用いたします。

問い合わせ先

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構

事業構想大学院大学 仙台

担当：木村・大泉

〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1

JR仙台イーストゲートビル7階

TEL: 022-257-8411 FAX: 022-257-8418

E-mail: sendai@mpd.ac.jp

プロジェクト研究事業に関すること

郡山市 産業観光部 産業創出課

〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目23番7号

TEL: 024-924-2271

E-mail: sangyousousyutu@city.koriyama.lg.jp



郡山市



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所